

アマミトゲネズミの繁殖経過

○和田 優子

2014年5月環境省自然環境局と（公社）日本動物園水族館（以下 JAZA）で「生物多様性保全の推進に関する基本協定書」を締結した。基本協定書に基づき、2016年「第1期トゲネズミ類生息域外保全実施計画」を策定し、トゲネズミ3種のうち、比較的生息数が安定しているアマミトゲネズミ（*Tokudaira osimensis*）での飼育繁殖技術開発に着手した。

金沢動物園では2021年7月7日に埼玉県こども動物自然公園から6頭（雄3頭雌3頭）を新規導入し、飼育繁殖技術の確立、科学的知見の集積を行っている。2021年7月23日～2023年8月31日までに4通りのペアリングを試み、2ペアで合計5回の出産があった。1ペアでは交尾は確認されたが、出産には至らなかった。